

2020年度 日本工学院八王子専門学校

柔道整復科

骨折実技（上肢2）

|      |       |     |    |          |   |    |       |     |    |    |   |
|------|-------|-----|----|----------|---|----|-------|-----|----|----|---|
| 対象   | 3年次   | 開講期 | 前期 | 区分       | 必 | 種別 | 実習    | 時間数 | 30 | 単位 | 1 |
| 担当教員 | 後藤 晃弘 |     |    | 実務<br>経験 | 有 | 職種 | 柔道整復師 |     |    |    |   |

授業概要

部位別に具体的な外傷の整復・固定や治療に至るまでの注意事項を学びます。

到達目標

こ柔道整復師の業務である上肢の骨折の症状や発生機序を理解し、整復法を習得することができる。また、合併症や後遺症など危険性を理解できるようになることが目標である。

授業方法

上肢骨折とは柔道整復師の行う業務範囲の中に含まれ、症状や骨折の仕組みや因子まで細かい部分を学び、実践できる学問である。上肢の骨折に関しての基礎知識から固定材料の基礎知識を学び、基本的な骨折の視診や触診といった評価から骨をつなぐといった技術を習得する。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

教科書（柔道整復理論編・実技編 一般社団法人 全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。

| 回数  | 授業計画     |
|-----|----------|
| 第1回 | 舟状骨骨折(1) |
| 第2回 | 舟状骨骨折(2) |
| 第3回 | 舟状骨骨折(3) |

## 骨折実技（上肢2）

|      |               |
|------|---------------|
| 第4回  | その他の手根骨骨折(1)  |
| 第5回  | その他の手根骨骨折(2)  |
| 第6回  | 中手骨骨折(1)      |
| 第7回  | 中手骨骨折(2)      |
| 第8回  | 1回～7回までの振り返り  |
| 第9回  | 中手骨骨折(3)      |
| 第10回 | 基節骨骨折         |
| 第11回 | 中節骨骨折         |
| 第12回 | 末節骨骨折         |
| 第13回 | 胸骨骨折          |
| 第14回 | 肋骨骨折          |
| 第15回 | 9回～14回までの振り返り |